

MIYAGI UNIVERSITY

GRADUATE SCHOOL OF PROJECT DESIGN

令和5年度入学

宮城大学大学院

事業構想学研究科（博士後期課程）

第1期募集

学 生 募 集 要 項



宮 城 大 学

目 次

宮城大学大学院及び事業構想学研究科アドミッション・ポリシー	1
1 募集人員	2
2 入学者選抜試験日程	2
3 出願資格	2
4 入学資格審査	2
5 出願手続	4
6 選抜方法等	6
7 合格発表	6
8 入学手続	6
9 初年度納付金（令和4年度入学者実績）	7
10 その他	8
研究計画書記載例	9
事業構想学研究科（博士後期課程）概要（予定）	10
入学者選拔手数料支払方法のご案内	22
試験会場案内	23

【求める学生像】

宮城大学大学院は、本学の理念や各研究科の人材養成目標を理解し、意欲を持って主体的に学修に取り組み、高度専門職業人又は研究者として積極的に地域社会に貢献しようとする意志と、そのための基礎となる広い視野と必要な学力を備えた学生を求めています。

【入学者選抜方針】

専門領域に関する試験（筆答試験、口述試験等）、外国語（英語）、小論文、面接、出願書類などによって、必要な学力や知識及び技術、意欲、適性を評価します。

事業構想学研究科アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

事業構想学研究科博士前期課程では、事業構想に関する知識やスキルの高度化に強い意欲を持つ人を受け入れます。

事業構想学研究科博士後期課程では、事業構想に関する専門的な知識又は高度な経験を有し、自らの専門領域の研究に強い意欲を持つ人を受け入れます。

【入学者選抜方針】

事業構想学研究科博士前期課程では、以下の入学者選抜により、専門領域に関する知識や論理的思考能力、表現力、コミュニケーション能力のほか、自らの専門領域のみならず関連領域に対する関心、勉学や研究に対するスキルの高度化への意欲及び適性を評価します。

- (1) 入学者選抜は、一般選抜、社会人特別選抜（通常枠及び地方自治体派遣枠）、外国人留学生特別選抜、推薦入学特別選抜によって行います。
- (2) 一般選抜では、論述専門科目、希望する専門分野に関する口頭試問を含む面接、本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコア、出願書類により入学者を選抜します。
- (3) 社会人特別選抜では、通常枠においては、論述専門科目、希望する専門分野に関する口頭試問を含む面接、出願書類により入学者を選抜し、地方自治体派遣枠においては、研究計画書に関する口頭試問を含む面接と出願書類により入学者を選抜します。
- (4) 外国人留学生特別選抜では、論述専門科目、希望する専門分野に関する口頭試問を含む面接、出願書類により入学者を選抜します。
- (5) 推薦入学特別選抜では、出願時において宮城大学事業構想学群を卒業見込みであり、学業人物ともに極めて優れていると認定された者を対象に、面接と出願書類により入学者を選抜します。

事業構想学研究科博士後期課程では、以下の入学者選抜により、事業構想に関する専門的な知識又は高度な経験、論文執筆能力、研究遂行能力、コミュニケーション能力のほか、自らの専門領域の研究への意欲及び適性を評価します。

- (1) 入学者選抜は、一般選抜によって行います。
- (2) 一般選抜では、論述試験、口述試験、出願書類により入学者を選抜します。

令和5年度入学 宮城大学大学院 事業構想学研究科(博士後期課程) 第1期募集 募集要項

事業構想学研究科(博士後期課程)の学生を次のとおり募集します。

1 募集人員

研究科名	専攻名	課程名	募集人員
事業構想学研究科	事業構想学専攻	博士後期課程	3人

出願に当たっての注意事項

出願前に必ず、指導を希望する教員に、今後の教育・研究の進め方・内容について事前に電子メール等で相談してください。連絡先は本募集要項21ページに掲載しています。事前の相談を行わずに出願された場合は、出願を受付することができませんので、ご了承ください。

2 入学者選抜試験日程

令和4年9月12日(月)

3 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者又は令和5年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和5年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和5年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和5年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和5年3月までに授与される見込みの者
- (6) 文部科学大臣が指定した者(平成元年文部省告示第118号)
 - ① 大学を卒業し、大学、研究機関等において、2年以上の研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究機関等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者又は令和5年3月までに24歳に達する者

※ 出願資格(6)又は(7)により出願しようとする者は、入学資格審査が必要となりますので、「4 入学資格審査」の規定により、審査を申請してください。

4 入学資格審査

「3 出願資格」(6)又は(7)により出願しようとする者については、出願前に入学資格審査を行いますので、あらかじめ宮城大学アドミッションセンターへお問い合わせの上、下記期日までに本研究科が指定する書類を提出してください。なお、入学資格審査により入学資格を認定されない場合の出願は受付できませんので、あらかじめ承知願います。

(1) 資格審査申請期限

令和4年7月1日(金)【消印有効】

持参の場合の受付時間は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで
(ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日を除きます。)

(2) 申請方法

申請は、下記(4)の申請書類一式を角形2号の封筒に入れ、「事業構想学研究科入学資格審査申請」と朱書きし、簡易書留速達による郵送又は持参により行ってください。「(4)①チ」に関する論文・作品・業績・成果物について、封筒への封入ができない場合は、別途提出してください。その際は、申請書類一式の中に別途提出物がある旨を記載したメモを入れてください。書類又は記載事項の不備又は不足があった場合は、別に指定する期日までに補正されたものに限り受付します。

(3) 申請先

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1 (大和キャンパス)

宮城大学アドミッションセンター

電話 022-377-8595

(4) 申請書類

※ 資格審査の際は、宮城大学ウェブサイトより、該当する様式を全て印刷の上、記入してください。

① 出願資格(6)による出願者

イ 資格審査申請書(**S-1票**、(**A4 片面印刷**) 必要事項全てを記入し、該当項目に○印を付してください。)

ロ 履歴書(**S-2票**、(**A4 両面印刷**) 学歴、職歴及び研究歴等を記入してください。)

ハ 業績レポート(**S-3票**、(**A4 両面印刷**) 職業活動における経歴及び業績を記入してください。)

ニ 成績証明書(出身大学の長が作成し、厳封したもの。)

ホ 学籍等に関する証明書(大学等の卒業・修了(見込)証明書及び在籍期間証明書(在学中又は中退の場合に限り。))を各学校の様式で提出してください。)

ヘ 職歴を証する書類(業績等について内容を記載した書類(様式任意))を添付してください。)

ト 在職中の研修歴及び研修内容・時間を証する書類

チ その他個別判断に該当する基準に係るものとして、各種資格取得証明書、論文・作品・業績や成果物(現物の提出が不可能な場合は、写真等により内容を把握できるもの)及び当該内容が申請者自らのものであることを証明する書類(内容によっては疎明書類、例えば各種媒体での紹介記事等をもって証明する書類に準じる扱いをすることもあります。))を提出してください。

リ 戸籍抄本(各種証明書類の氏名と、現在の氏名が異なる場合に限り、提出してください。)

ヌ 審査結果通知用切手344円分(「チ」に係る論文・作品・業績・成果物について、返却を希望する場合は、別途所要の切手を貼付した封筒又は必要事項を記入した宅配便等の着払い伝票を同封してください。)

② 出願資格(7)による出願者

出願資格(7)によって出願しようとする者の申請書類については、あらかじめ宮城大学アドミッションセンターへ照会してください。

(5) 申請上の注意事項

① 申請書類が全てそろっていない場合は、受付できませんので、申請の際は十分に確認してください。

※ 書類に不備、不足がある場合については、期限を定めて提出書類の補正又は書類の追加提出を指示しますが、期限内に補正又は追加提出がなかった場合は、受付できません。

② 申請後の記載事項の変更については、速やかに連絡してください。

③ 受付した申請書類は、原則として返還しません。

④ 申請書類のうち、外国語で記載された証明書等については、必ず日本語訳を添付してください。

(6) 認定結果通知

- ① 審査結果については、申請者本人宛てに郵送により通知します。また、認定者については、宮城大学大学院入学資格認定通知書を送付しますので、出願の際に添付してください。
- ② 審査結果が、令和4年7月22日（金）までに通知されていない場合は宮城大学アドミッションセンターまで連絡してください。
- ③ 資格認定した後であっても、申請書類の記載事項と相違する事実が発見された場合は、認定を取り消すことがあります。

5 出願手続

(1) 出願期間

令和4年8月1日(月)から令和4年8月8日(月)まで【消印有効】

(2) 出願方法

- ① 出願は、所定の出願様式を使用し、簡易書留速達による郵送又は持参により行ってください。
- ② 簡易書留速達による郵送の場合は、出願期間最終日の消印有効とします。
- ③ 直接持参による受付時間は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までとします。ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日の受付は行いません。

(3) 出願先（大和キャンパス）

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

宮城大学アドミッションセンター

電話 022-377-8595

(4) 入学者選抜手数料

入学者選抜手数料 30,000 円 を期間内（**令和4年8月1日（月）～令和4年8月8日（月）**）に、最寄りの金融機関窓口（本学所定の様式「**A-2票**」を使用。ただし、ゆうちょ銀行・郵便局を除く。）、又はコンビニエンスストアで納入してください。どちらで納入する場合も振込（払込）手数料が別途かかります。

※ コンビニエンスストアでの手続きの詳細については2ページ参照

(5) 出願書類

※ 出願の際は、宮城大学ウェブサイトより、**A～D票**を全て印刷の上、記入してください。

出願書類等	注意事項
願書（ A-1票 ） （ A4 両面印刷 ）	必要事項全てを記入し、該当項目に○印を付してください。 また、 A-2票 で入学者選抜手数料として振り込んだ30,000円の「振込証明書（大学提出用）」部分を切り取ったものを、裏面の所定の欄に貼り付けてください。
選抜手数料振込依頼書のうち振込証明書（大学提出用） （ A-2票 ） （ A4 片面印刷 ） 又は 収納証明書 （収納証明書の場合は、番号はついていません。）	【入学者選抜手数料を所定の振込依頼書で払い込む場合】 入学者選抜手数料として30,000円を本学所定の振込依頼書（ A-2票 ）で、振込期間内に金融機関から電信扱いで振り込んでください。（ただし、ゆうちょ銀行・郵便局を除く。）振り込み後、「振込証明書（大学提出用）」を切り取ったものを出願書類として A-1票 裏面の所定の欄に貼り付けてください。 【入学者選抜手数料をコンビニエンスストアで払い込む場合】 コンビニエンスストアで発行された「取扱明細書（兼領収書）」の「収納証明書」部分を切り取ったものを出願書類として A-1票 裏面の所定の欄に貼り付けてください。
受験票（ B-1票 ）、 写真票（ B-2票 ） （ A4 片面印刷 ）	必要事項全てを記入し、該当項目に○印を付すとともに、出願前3か月以内に撮影した、正面上半身、無帽、無背景の写真【縦4cm×横3cm】を貼付してください。※受験票、写真票に貼付する写真は、 <u>同一の写真</u> を使用し、裏面に氏名を記載してください。 <u>なお、B-1票とB-2票は切り離さないでください。</u>

出願用封筒貼付用紙 (C票) (A4 片面印刷)	任意の角形2号の封筒(A4判の資料が入る大きさ)に、 C票 「出願用封筒貼付用紙」を印刷したものを貼り、必要事項全てを記入し、封筒に出願書類一式を入れ、出願してください。
郵便切手	344円分 の郵便切手を、出願書類とともに提出してください。受験票送付時に使用します。
業績レポート(D票) (A4 両面印刷)	これまでの研究業績(論文タイトル、発表年月、掲載誌名、単著・共著の区別、査読の有無、口頭発表の有無など)を記載してください。その他に、企業、官公庁、教育機関、研究機関及びその他各種団体等の在職経験又は活動経験を有する者は提出してください。
修了(見込)証明書 または学位授与(申請受理)証明書	在籍する大学院等の修了見込証明書、出身大学院等の修了証明書または本学大学院入学資格認定通知書等を提出してください。大学改革支援・学位授与機構から学位授与された方は、学位授与証明書を、申請中の場合は、同機構が交付する学位授与申請受理証明書を提出してください。
成績証明書	出身大学院等の様式で提出してください。
研究計画書 【記載例9ページ】	入学後の研究計画に関し、研究目的、研究動機・問題の背景及び研究方法等について記載してください。作成に当たっては、A4判の用紙2枚を用い、ワープロソフトにより作成してください。使用する文字の大きさは10ポイント以上とし、本文4,000字以内で作成してください。必ず1枚目に研究テーマ、氏名を記入してください。 <u>なお、研究計画書は、願書受付後の補正はできません。指定書式を十分に確認してください。本学ウェブサイト(https://www.myu.ac.jp/)からもテンプレートをダウンロードできます。</u>
修士論文等の要旨 又は研究の要旨	修士の学位を有する者は、修士論文の要旨又は研究成果の要旨を提出してください。修士の学位を授与される見込みの者は、現在研究している研究の要旨を提出してください。作成に当たっては、A4判の用紙1枚を用い、ワープロソフトにより作成してください。使用する文字の大きさは10ポイント以上とし、本文2,000字以内(1行当たり40字、全体で50行以内)で作成してください。
戸籍抄本	各種証明書類の氏名と現在の氏名が異なる場合に限り、提出してください。
在留カードの写し 又は住民票 及び 旅券・査証	日本国籍を有しない者で、出願時点で、既に在留カードが交付されている方は、「在留カード」の両面コピー又は市区町村発行の「住民票」(原本)(国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの)を提出してください。 住民票を提出する場合は、マイナンバーの記載のないものを提出してください。 あわせて、旅券と査証のコピーを提出してください。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願書類が全てそろっていない場合は、受理できませんので、出願の際は、十分に確認してください。
- ② 出願後に氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに宮城大学アドミッションセンターまで連絡してください。
- ③ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載事項と相違する事実が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 受付した出願書類及び入学者選抜手数料は、返還しません。
- ⑤ 出願書類のうち、外国語で記載された証明書等については、必ず日本語訳を添付してください。

(7) 受験票の送付

受験票は、願書受付後、令和4年8月19日(金)頃に発送する予定ですが、令和4年8月24日(水)までに受験票が届かない時には、宮城大学アドミッションセンターに連絡してください。

(8) 特別の配慮を要する入学志願者の事前相談

本学大学院への入学を志願する方で、障害を有する等、受験上又は修学上、特別な配慮を希望する場合は、

令和4年7月20日（水）までに、その内容を宮城大学アドミッションセンターに相談してください。

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
宮城大学アドミッションセンター
電話 022-377-8595

6 選抜方法等

(1) 選抜方法

論述試験、口述試験（面接を兼ねる。）及び研究計画書等出願書類の内容を総合的に判定して行います。

(2) 試験日

令和4年9月12日（月）

(3) 試験会場

宮城大学大和キャンパス 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

(4) 試験時間等

試験科目		試験時間	配点
口述試験	これまでの研究内容（修士論文の内容）及び入学後の研究計画等について行います。	各30分程度	100点
論述試験	入学後の研究に関連するテーマについて行います。	90分	100点

(5) 受験上の注意

- ① 受験者は、受験票送付の際に指定される時間までに、指定の試験室に入室し、着席してください。
- ② 口述試験（面接を兼ねる。）開始時に不在の場合は、欠席者として取り扱います。
- ③ 口述試験（面接を兼ねる。）の際に自身の作品や成果物等を持ち込むことができます。
- ④ 試験日当日は、受験票を必ず持参してください。試験当日に受験票を忘れた場合は、仮受験票を発行しますので、受付に申し出てください。また、受験票は入学手続の際にも必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ⑤ 口述試験は、受験者本人の了承を得て録音することがあります。録音した内容は、より公正な試験を維持するためにのみ、本学内で使用します。
- ⑥ 事前に試験会場の下見はできますが、試験室内への立入りはできません。
- ⑦ その他連絡事項が生じた場合は、受験票送付の際に通知します。

7 合格発表

(1) 発表期日

令和4年9月22日（木） 午後1時頃

(2) 発表方法

- ① 合格者に対して合格通知書を送付します。
- ② 宮城大学のウェブサイトにも合格者受験番号を掲示します。その他の方法による合格者に関する問合せには、一切応じません。ウェブサイトアドレスは、<https://www.myu.ac.jp/> です。

8 入学手続

(1) 入学手続期間

令和4年9月26日（月）から令和4年10月4日（火）まで《午後5時必着》

(2) 提出書類等

- ① 誓約書兼保証書（様式は、合格通知の際送付します。）
- ② 受験票（手続終了後、返却します。）
- ③ 振込証明書（入学金を納入後、渡される領収書のうち、大学提出用）
- ④ 住民票等（合格発表日以降に発行された原本を提出願います。）

「**9 初年度納付金**」(1) 入学金 a「宮城県内の方」で、アに該当する場合は、合格者本人の住民票等（住民票又は戸籍の附票の写し等）を提出してください。イに該当する場合は、(i) 合格者の配偶者又は1親等の直系尊属の方の住民票等及び(ii) 合格者本人との関係を証明する書類（戸籍謄本・抄本や戸籍記載事項証明書等）の2点を提出してください。

⑤ 修了証明書

「**3 出願資格**」が、出願時点で「見込み」となっている方のみ、合格通知の際に別に指定する期日までに卒業証明書又は修了証明書を提出してください。

(3) 入学手続

上記(2)の提出書類等について、簡易書留速達による郵送又は持参により提出してください。

- ① 入学手続に必要な書類（誓約書兼保証書、入学金振込依頼書）は、合格発表後、本人宛てに郵送します。
- ② 郵送により提出する場合は、必ず「簡易書留速達」により送付してください。入学手続期間最終日必着とします。入学手続期間を過ぎて到着したものは、受理しません。
- ③ 直接持参の場合の受付時間は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までとします。土曜日、日曜日及び国民の祝日の受付は行いません。
- ④ 必要な書類が全てそろっていない場合には、受理できませんので、書類提出の際には十分に確認してください。
- ⑤ 一度受付をした書類及び入学金等は、返還しません（過誤納の場合は除きます。）。
- ⑥ 入学を許可され、入学手続を完了した者であっても、令和5年3月末日までに大学院等を修了できない場合は、入学許可を取り消します。
- ⑦ 令和5年3月末日までに入学を辞退する場合は、入学手続完了前後を問わず入学辞退届（任意様式：研究科名、受験番号、住所、氏名、入学を辞退する旨を記載し、押印のこと。）を提出してください。
- ⑧ 令和5年4月1日以降の入学辞退はできません。4月1日以降は授業料が発生していますので、当該授業料を納入した後の退学となります。

(4) 入学手続書類提出先

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1（大和キャンパス）
宮城大学アドミッションセンター
電話 022-377-8595

9 初年度納付金（令和4年度入学者実績）

(1) 入学金

合格者に対し、別途送付する入学金振込依頼書により、最寄りの金融機関で次の金額を納めてください。

a. 宮城県内の方 282,000円

宮城県内の方とは、次のいずれかに該当する方をいいます。

ア 入学許可の日（**令和4年9月22日**）前1年間引き続き宮城県内に住所を有する（住民登録されている）方

イ 入学許可の日（**令和4年9月22日**）前1年間引き続き宮城県内に配偶者又は1親等の直系尊属が住所を有する（住民登録されている）方

b. 宮城県外の方 564,000円

(2) 授業料

年額535,800円 入学初年度は5月（2年目以降は4月）と10月の2回に分けて納入

(3) その他納付金

学生傷害保険等実費が必要となりますが、詳細については入学手続後追ってお知らせします。

10 その他

(1) 研究に当たって必要な準備物等については、入学後に指導担当教員が指示します。

(2) 奨学金（令和4年度入学者実績）

日本学生支援機構が行う奨学金の申込みは、入学後において、宮城大学大学院で行うことができます。日本学生支援機構が貸与する奨学金には、第一種奨学金（無利子貸与）、第二種奨学金（有利子貸与）があり、その貸与月額は第一種奨学金の場合 80,000 円又は 122,000 円、第二種奨学金の場合 50,000 円～150,000 円の選択制になっています。第二種奨学金の貸与を受けた者は、その貸与額に対し年 3.0%（上限）の利息がかかります。

(3) 授業料の減免等

経済的理由により、授業料の納付が困難な学生で、学業成績等所定の基準を満たす者に対しては、授業料減免の制度があります。また、納付期日までの授業料納付が困難な学生に対し、納付期日の変更等の制度があります。

(4) 住居

本学が設置する学生寮はありませんが、アパート等に関して、宮城大学生協において情報を提供します。

(5) 口頭による開示請求に基づく試験成績の開示の実施

宮城県の個人情報保護条例に基づき、受験者は、大学院入学者選抜試験の成績を口頭により開示請求することができます。

- ① 開示内容 科目別得点及び総合得点並びに総合得点による順位
- ② 受付期間 令和4年9月22日（木）から令和4年10月24日（月）まで
ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日及び10月14日（金）を除きます。
- ③ 受付時間 午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで
（9月22日（木）は午後1時から午後5時まで）
- ④ 開示場所 宮城大学事務局（大和キャンパス）
- ⑤ 必要書類 受験票を持参してください。
- ⑥ その他 電話・電子メール等の通信による問合せには一切応じません。
また、受験者本人以外の方からの請求は、受付できません。

(6) 入学者選抜試験成績等の個人情報について

本学の入学者選抜試験実施に伴い、本学が保有した試験成績等の個人情報は、入学者選抜のほか教育的な目的のため、本学内でのみ使用することがあります。

(7) 長期履修制度について

職業を有している等の事情により、博士後期課程3年の標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを希望する場合は、所定の申請を行うことにより、長期履修学生として許可される制度があります。また、手続機会は原則として入学時のみとし、許可された場合でも5年を超えて在学することはできません。なお、基本的には、通常のカリキュラム・授業時間割を使用し、教育・研究指導が行われます。

1 枚目のみ記入

事業構想学研究科博士後期課程（事業構想学専攻）の概要

1 事業構想学の意義

「事業構想学」とは、事業の着想・計画・実現・運営の諸過程を研究対象とする学際的かつ総合的な経験科学の一分野である。この、事業の着想から事業運営にいたる一連の過程が「事業構想」といえるが、これには多くの知識、技術が相互かつ密接に関わる。

この目標を実際に達成するには、絶えず進化してやまない学問と技術の成果を個別専門的に検討するのみならず、学際的立場から総合的な再構築を図り、世界に開かれた学問としてさらに高度化しなければならない。当然のことながら、従来のような縦割りの学問では事業構想へのアプローチは難しい。個々の研究者が問題意識を高め、学問領域を仕切る従来の境界を突破することで、学問のフロンティアが拓かれる。

また、事業構想学という目標に向けて、これまでの知識・技術の成果を学際的に再構築し、有機的に融合することによって研究の相乗効果（シナジー）が期待できる。ここに、事業構想学の真骨頂がある。つまるところ、事業構想学とは、個別の学問分野ではなく、事業構想に関わる個々の学問やノウハウの総称ともいえよう。

事業構想学研究科は、事業構想学群で目指した事業構想学の理念をさらに深く追求するために設置された。すなわち、事業構想学の確立という目標を、教員、学生の共通認識とし、この目標に沿って社会科学系の学問知識と自然科学系の技術成果をより有機的に活用する。個々の研究者には、それぞれの学問領域に閉じこもらず、地域社会が抱える諸問題の解決やプロジェクトの推進に積極的に関わるとともに、将来を見据えて本研究科の学問・技術の目標を絶えず引き上げる努力が求められる。それには、引き続き絶えざる研鑽を積み重ねなければならない。このようなスタンスで本研究科は、従来の日本の大学院教育が目指してきた既成学問の「蘊奥を究める」だけでなく、研究と教育の双方に軸足を置き、実務・事例を中心とした講義と演習を行う。

2 人材養成目標と教育方針

〔人材養成目標〕

より良い未来社会の実現に向けて、様々な分野における特定の課題を対象に、その解決のための事業の着想から事業運営にいたる一連の過程の事業創造の役割を担い、国内外の企業・行政・地域社会などのあらゆる場面における先端的諸問題の発見・解決が出来る独創的な研究能力と事業能力を有するプロジェクトマネージャー及び自立的研究者を養成すること。

より良い未来社会の実現に向けて、様々な分野における特定の課題を対象に、その解決のための事業の着想から事業運営にいたる一連の過程の事業創造の役割を担い、国内外の企

業・行政・地域社会などのあらゆる場面における先端的諸問題の発見・解決が出来る独創的な研究能力と事業能力を有するプロジェクトマネージャーを養成する。同時に世界に開かれた学問としての事業構想学の理念と応用の技術をより体系化しその教育に携わることのできる研究者を養成する。

本課程で養成するプロジェクトマネージャーの資質として、①時代の変化にあわせた経営・技術環境の分析・予測ができ、②実践に応用するための企画・設計・開発・事業創造が行え、③さらに、これらを総合・統合して管理・運営する能力が要求される。プロジェクトマネージャーには、各種ビジネスプロジェクトの最前線でのプロデューサーとして、あるいは地域コミュニティの再生・活性化を含む広義のサービス産業を中心とした公的分野・非営利分野の各種プロジェクトのリーダーとして活躍し、東北地方の産業振興をはじめとする地域振興に寄与することが期待されている。

これからの新しい事業創造の役割を担うプロジェクトマネージャー及び自立的研究者を養成するため、事業構想学研究科では、これまでの学問領域の枠組みを越えた教育課程を編成し、ビジネスデザイン系、ソーシャルデザイン系、空間デザイン系、情報デザイン系の専門分野の教員により、実務・事例に立脚した高度な知見に基づいた講義・演習を行うとともに、教員・学生が一体となり、新たな事業創造を目指した研究活動を展開する。

3 事業構想学研究科（博士後期課程）・事業構想学専攻の修了要件

事業構想学研究科（博士後期課程）・事業構想学専攻を修了し、学位を取得するためには、次の要件①～③の全てを充足する必要がある。本研究科の博士後期課程を修了した者に「博士（事業構想学）」の学位が授与される。

① 在学期間

修業年限（原則3年）を充足すること。

② 修了要件単位数

特別演習8単位以上（指導教員が担当するものを含めること）、特別研究8単位以上を合わせて計16単位以上修得すること。

③ 学位論文提出

研究指導を受け、学位論文（博士論文）を完成させ、その審査及び最終試験に合格すること。

《授業科目の概要》

令和5年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 I a・I b (ビジネスデザイン) 【科目の一般概要】 事業構想特別演習 I a・I b (ビジネスデザイン) (以下「特別演習 I a・I b」) は、博士(後期3年の課程)の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習 I a・I bを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ(企業インターンシップを含む)指導する。 特別演習 I a・I bは、ビジネスデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【マーケティングサイエンス特別演習】 本演習では、マーケティングリサーチ手法の体系的な理解と様々な事例への適用方法を学ぶ。調査スキルを身につけるにとどまらず、科学としての必要条件や適用限界、調査結果の活用方法、最新の調査分析手法などを学び、高度な技術を持った実務家・研究者になるための必要な能力を身につける。具体的には、消費者心理、人間中心設計、感性工学、認知科学、User Experience など、顧客・ユーザー理解研究のトップジャーナルを題材にし、議論を中心に進めていく。	准教授 安藤裕
	【税法・社会関連会計特別演習】 事業構想における租税法分野の役割は、新しい事業価値創造の実現可能性を担保するために、その適法性や公共性の判断や税額算定から、意思決定情報を提供することにある。そのため、法律の解釈論をベースとして、理論構築や算定を展開させていく。 具体的には、 ①事業価値創造と租税法解釈 ②事業価値創造と租税法の制約要件の検討 ③事業価値創造と租税法上の課題の考察 ④税額算定と代替え案の比較からの有利選択 この4つを軸として、演習を進める。	教授 内田直仁
	【医療福祉システム特別演習】 ①医療福祉分野の制度を理解し、その諸課題について総括する。 ②診療報酬体系のあり方とそれが病院経営に与える影響について実証的に分析する。 ③医療福祉の情報システムについてのあり方を検討する。 ④保険薬局やその他の医療福祉関連機関との連携について学習する。 ⑤認知症に関する知識を学習する。 ⑥特に認知症の行動的・心理学的症候 (Behavioral and Psychological Signs and Symptoms of Dementia: BPSD) の特徴と対処方法を考察する。それによって、医療が福祉とどのように連携を取るべきか、どのように機能分化や機能統合を進めるべきか学修する。	教授 糟谷昌志

《授業科目の概要》

令和5年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 I a・I b (ビジネスデザイン) 【科目の一般概要】 事業構想特別演習 I a・I b (ビジネスデザイン) (以下「特別演習 I a・I b」) は、博士(後期3年の課程)の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習 I a・I bを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ(企業インターンシップを含む)指導する。 特別演習 I a・I bは、ビジネスデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【産業経済学特別演習】 本演習科目では、営利・非営利を問わずプロジェクト運営に必要な費用最小化、利潤最大化の概念を基礎として、ミクロ経済学の観点から企業行動について理論的に考察する。企業数や参入障壁の相違により市場構造を分類しながら、寡占市場での競合企業の行動に対する最適な戦略を分析する。また、地域活性化に必要な協調的行動についても検討しながら、企業行動が均衡価格や経済厚生に与える影響を解明していく。受講生の関心に即したテキスト及び専門論文を輪読する形式で、オーソドックスな理論と最新の研究内容の双方を理解し、先行研究において示された帰結や残された課題を精査する。	教授 金子浩一
	【管理会計特別演習】 授業形態は、全受講生と個別指導の両形態。具体的には、国内外の戦略管理会計、及び管理会計システムに関する研究の動向の説明、及びそれに関する研究の方法等の紹介は全受講生向けに講義。個人の研究の進捗にもよるが、個人の研究テーマの設定および研究に関する指導は個人向けに講義。目標は国内外の戦略管理会計、及び管理会計システムに関する研究の動向を理解するとともに、個人の研究テーマを設定し、研究を進めることとする。授業計画は、受講生の興味関心・研究の進捗状況に沿ってその都度策定していく。	准教授 絹村信俊
	【人材・組織マネジメント特別演習】 本演習では、「組織における人間」の存在について、①構成主体、②行動主体、③意思決定主体、④成果規定主体、これら4側面に基づいて分析し考察する。学術研究を機能的に推進するため、①基本的視座の設定、②フレーム・ワークの構築、③研究仮説の設定、④仮説モデルの設計、⑤分析方法の選択、の「能力」を喚起し育成する。分析方法として「定量的分析(多変量解析)」と、「定性的分析(ヒアリング調査・参与観察調査など)」とを習得する。併せて、人事制度(評価・報酬・育成)、組織ストレス、組織風土、組織文化などの組織環境にも言及し、持続的な競争優位の源泉である人間を有効に育成するためのCDP施策を設計し、提示できる能力の涵養を図る。	教授 櫻木晃裕

《授業科目の概要》

令和5年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 I a・I b (ビジネスデザイン) 【科目の一般概要】 事業構想特別演習 I a・I b (ビジネスデザイン) (以下「特別演習 I a・I b」) は、博士(後期3年の課程)の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習 I a・I bを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ(企業インターンシップを含む)指導する。 特別演習 I a・I bは、ビジネスデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【経営戦略特別演習】 変化の激しい社会経済環境のなかで、組織業績を創出している企業には優れた経営戦略が存在する。しかし、経営戦略を立案しても、それを実行するための組織をつくり、人を動かすことができなければ、経営戦略は画餅に帰す。そこで本講義では、経営戦略論の発展系譜を踏まえながらも、経営理念・目的を掲げる→経営戦略を立案する→組織と人事システムを設計する→組織・人事システムを運用するという一連の経営活動を、相互に関連づけて分析し議論する。 【社会システム特別演習】 地域の産業活性化や生活環境維持・改善のためには、社会基盤施設の整備とともに法制度や補助制度など、ハードとソフトを併せた社会システムとしての検討が必要となる。本演習では、特にまちづくりと交通が産業活動や生活環境に与える影響に焦点を当て、まず、これまでのシステム変更の影響について文献調査や事例調査により学ぶ。次に、計画プロセスにおいて必要となる統計分析、将来予測、最適化技法、評価手法などの理論について学ぶ。さらに、それらの手法を個別課題に適用することによって計画プロセスを学ぶとともに、その手法の特性や適用限界などについて理解を深める。	教授 高橋修 教授 徳永幸之

《授業科目の概要》

令和5年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン）（以下「特別演習Ⅱa・Ⅱb」）は、博士（後期3年の課程）の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習Ⅱa・Ⅱbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む）指導する。 特別演習Ⅱa・Ⅱbは、ソーシャルデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【地域企業・地域産業特別演習】 地域企業と地域産業に関する諸理論を体系的に整理するとともに、地域企業・地域産業の実態を的確に把握するために市場、経営資源、人材スキル、ポテンシャル、リスク等について、精緻な現地調査に基づく検討、分析を行う。特に地域クラスターと個々の企業との競争的、協調的行動が地域イノベーション創出に与える影響を考察する。その上で、自身の研究テーマに関して学術的な位置づけを行い、仮説の設定と検証方法を検討する。	准教授 青木孝弘
	【地域環境システム特別演習】 安全で快適な生活環境を保障し、かつ良好な都市環境を保全するため、社会資本整備が社会や自然に及ぼす影響・責任について国内外の最新の研究成果を基に輪講や討議を行う。さらに、地域資源を保全しながら持続可能な地域社会を築くためのマネジメントの考え方や手法について理解するとともに、都市や地域における人間活動がもたらす地域環境へのインパクトについて各種の統計情報や地域環境情報を用いて分析・評価し、地域の実情に即した社会のあり方について考察する。	准教授 石内鉄平
	【非営利組織マネジメント特別演習】 非営利組織マネジメントに関わる論点（ファンドレイジング、ガバナンス、ボランティアマネジメント、マーケティング、アドボカシー、サービス供給、ほか）をもとに、体系的に先行研究を整理するところから始める。その上で、自身の研究テーマの学術的な位置付けおよび意義を明確にする。先行研究における質的調査、ケーススタディ、動向の量的把握、理論検証のための実証分析を精査し、自身の研究テーマに即した手法を用いて、分析を行う。分析結果を踏まえて非営利組織の行動特性に関する考察を展開するとともに、政策的インプリケーションを議論する。	教授 石田祐

《授業科目の概要》

令和5年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン）（以下「特別演習Ⅱa・Ⅱb」）は、博士（後期3年の課程）の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習Ⅱa・Ⅱbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む）指導する。 特別演習Ⅱa・Ⅱbは、ソーシャルデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【地域環境政策特別演習】 ①環境政策における法制度システムの機能、役割、その実践方策について、具体的事例をあげながら検証を進める。 ②地域環境政策の対象となる、自然環境、社会環境、歴史環境を活用した環境整備、環境保全、事業立案など個別のテーマにおける政策システムの制度論について、実例を用いながら、それぞれに考察を加えるとともに、政策決定のプロセスを探る。 ③今後の環境政策に景観工学的視点を導入する方法論を検討する。	教授 小沢晴司
	【コミュニティビジネス特別演習】 本演習は、持続可能な社会の構築に向けた政策課題や経済問題等を分析し、そのソリューションとしての「持続可能な地域創造手法」を学ぶものである。具体的には、①現代の地域社会の問題を研究論文や行政報告書等から分析を行うとともに、②行政、企業、住民等に対するヒアリング調査やワークショップ等を行い、③地域資源を活かした「地域市民事業（コミュニティビジネス）」の創造プロセスを習得していくものである。コミュニティビジネスは、地域の課題や特性を踏まえながら、コミュニティ主体の地域再生事業を創造するビジネスモデルであり、本演習は、そのための基本条件を実践的な視点から習得していくものである。	教授 風見正三
	【農業農村整備計画特別演習】 地域の産業活動活性化や生活環境維持・改善のためには、社会基盤施設の整備とともに法制度や補助制度など、ハードとソフトを併せた社会システムとしての検討が必要である。本演習では、特に社会資本整備や土地利用等のハード・ソフトの両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある地域づくりを進める取組としてのグリーンインフラに焦点を当て、まず、国内外における事例調査によりその概観について学ぶ。次に、農業・農村の多面的機能とグリーンインフラとの関係について探求する。さらに、グリーンインフラの具体的内容を取り上げ、自己の研究枠組みとの関連性を整理する。	教授 郷古雅春

《授業科目の概要》

令和5年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン）（以下「特別演習Ⅱa・Ⅱb」）は、博士（後期3年の課程）の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習Ⅱa・Ⅱbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む）指導する。 特別演習Ⅱa・Ⅱbは、ソーシャルデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【環境地域情報学特別演習】 近年の空間情報科学の先駆的研究を取り上げ、地域の社会問題や自然環境の実態・課題、およびそれらの関係性を分析するための方法やその結果を読み取り、考察するための地理学的思考を習得することを目指す。さらに、地理情報システム（GIS）の演習を交えながら、実際に個々人の研究関連分野の空間データ（各種統計データ、衛星画像から抽出したデータなど）を取得、加工、分析、出力することを通して、空間データを分析するための情報処理能力の向上も目標とする。	准教授 高橋信人
	【農村振興・土地改良特別演習】 地域における農業と環境の問題点を幅広く抽出し、科学的な検証を行いながら農業の生産性と品質の向上、農地の災害復旧につながる手法を考えていく。現地調査やプレゼンテーションを通じて地域の農業の活性化に寄与することができるスペシャリスト養成を目指す。	教授 千葉克己
	【コミュニティシステム特別演習】 コミュニティに関わる理論的な論点（市民社会、討議デモクラシー、ソーシャル・キャピタルなど）に関する、体系的な整理と検討を通して、それぞれの研究の主眼を明確化し、学問領域の中での位置づけを明確化する。さらにこうした検討作業を通して、仮説構築を行い、この仮説をどのような方法に基づいて検証を行うことが可能であるか方法論の検討を行う。これらを踏まえて、それぞれの研究課題の論文化に向けての具体的な工程を作成する。	教授 藤澤由和

《授業科目の概要》

令和5年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 Ⅲa・Ⅲb（空間デザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習Ⅲa・Ⅲb（空間デザイン）（以下「特別演習Ⅲa・Ⅲb」）は、博士(後期3年の課程)の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習Ⅲa・Ⅲbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む）指導する。 特別演習Ⅲa・Ⅲbは、空間デザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【都市マネジメント特別演習】 既存の科学のみならず最新の技術までを広く対象とし、都市・建築分野やその周辺領域における諸課題の解決、ならびに社会の発展のための真理の追究に向けて、ゼミ形式で授業を行う。観察・調査・実験を行い、また討議を行うことによって、それらの成果をとりまとめる能力も磨いていく。(1)課題探究の基礎となる多面的なアプローチによって社会への理解を深めること、(2)実現可能性や社会実装の方法も確認しながら、自らの問題を探索・発見することができること、を到達目標とする。 【数理造形デザイン特別演習】 ファブラボと呼ばれるデジタルファブリケーション機材を備えた市民工房が世界各地に設立され国際的なネットワークを通じてローカルなものづくりの知識や経験が共有される環境が整いつつある。これまでものづくりに参加できなかった個人でさえ、この仕組みの上で事業を開始することが現実的な選択肢になりつつある。こうした背景においてローカルな素材や技術を用いたものづくりを、世界に向けて発信するための基礎的な知識や実務上の事情を理解することを目的とする。	准教授 小地沢将之 教授 土岐謙次

《授業科目の概要》

令和5年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 IVa・IVb（情報デザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習IVa・IVb（情報デザイン）（以下「特別演習IVa・IVb」）は、博士(後期3年の課程)の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習IVa・IVbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む。）指導する。 特別演習IVa・IVbは、情報デザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【認知情報学特別演習】 システムの一要素としての人間の諸特性について、身体・行動・認知及びそれらを支えるメカニズムの観点から、幅広い研究リソースに対して最新の知見を調査・取材し議論を行う。特に、認知科学、脳科学、心理学に関連した学術論文の輪講、議論が中心的な作業となる。心理学の分野としては基礎心理学が中心となるが、必要に応じて社会心理学、発達心理学、臨床心理学などの知見にも積極的に当たる。また、人間の諸特性を実験的に検討するための方法論についても実習を交えて学んでいく。具体的には、社会調査法、多変量解析を含むデータマイニング及び統計手法、心理物理学的測定法、生体電気測定法、脳イメージング等の手法である。	教授 茅原拓朗
	【情報システム設計特別演習】 情報システムを、企画、設計、構築、試験、及び文書化するための高度な技法を演習により修得する。具体的には次を学ぶ。 （１）形式手法を用いることにより、各過程を通じた整合性を担保する。（２）アジャイルなプログラム管理を行う。（３）マルチエージェントによりシステムをモデル化し実装する。（４）クラウド化したインフラストラクチャーを活用する。（５）メタプログラミング及びアスペクト指向を含む高度なプログラミング技術を活用する。	教授 須栗裕樹
	【人間情報デザイン特別演習】 人間と情報通信技術との界面にある多様な社会・環境・認知等に関連する課題を取り上げ、国内外の最新の研究論文の輪講や討議を行う。これを通じて、人間情報学を取り巻くデザインに関する理論や最新技術を体系的に理解する。加えて、情報システムを構成する物質面と非物質面の両側面においてデザインを捉え、それらが生み出す体験について考察できる思考プロセスの獲得を目指す。	准教授 鈴木優
	【社会基盤情報システム特別演習】 道路や鉄道等の交通社会基盤に関連する情報システムに注目し、計画・設計、施工、維持管理・運用等の交通基盤施設のライフサイクルにおける各フェーズで利用される情報システムを取り上げ、国内外の最新の研究成果を基に輪講や討議を行い、当該分野における理論・最新技術について体系的に理解するとともに、現状の技術的問題点を明らかにする。さらに交通社会基盤と情報システムとの融合により創出される新しいサービスモデルとその実現の可能性について討議を行い、交通社会基盤の情報化の将来について考察する。	教授 蒔苗耕司

《授業科目の概要》

令和5年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	担当教員
事業構想学特別研究 【科目の一般概要】 事業構想学研究科における研究指導においては、今後における事業構想学の発展や実学・実践の学問展開を目指す観点から、博士論文作成のための研究指導を行う目的で事業構想学特別研究を設ける。具体的には、指導教員との討論、議論等を通じて、研究テーマの選定、研究の進め方、研究計画、研究評価、学会等への発表計画、論文の構成等の綿密な指導により研究能力を高めるが、体系的かつ効果的な問題解決の実践及びその方法の習得、その課程の中から新原理の探求を目指す。	研究指導教員

《研究指導教員連絡先一覧》

職・氏名		連絡先	
教授	石田 祐	Tel	022-377-8247
		e-mail	ishiday@myu.ac.jp
教授	風見 正三	Tel	022-377-8357
		E-mail	kazami@myu.ac.jp
教授	糟谷 昌志	Tel	022-377-8328
		E-mail	kasuya@myu.ac.jp
教授	茅原 拓朗	Tel	022-377-8369
		E-mail	kayahara@myu.ac.jp
教授	郷古 雅春	Tel	022-377-8373
		E-mail	goukomas@myu.ac.jp
教授	櫻木 晃裕	Tel	022-377-8372
		E-mail	sakuragi@myu.ac.jp
教授	須栗 裕樹	Tel	022-377-8352
		E-mail	suguri@myu.ac.jp
教授	千葉 克己	Tel	022-377-8278
		e-mail	chibak@myu.ac.jp
教授	土岐 謙次	Tel	022-377-8332
		E-mail	toki@myu.ac.jp
教授	徳永 幸之	Tel	022-377-8349
		E-mail	y_toku@myu.ac.jp
教授	藤澤 由和	Tel	022-377-8355
		E-mail	fujisaway@myu.ac.jp
教授	蒔苗 耕司	Tel	022-377-8368
		E-mail	makanae@myu.ac.jp

入学者選抜手数料支払方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育



入学検定料等支払



LAWSON
Loppi

MINISTOP
Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン



学び・教育・各種検定試験



大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い



お申込みの大学名

をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

(注意) 本学への出願は、出願期間最終日の消印有効となります。コンビニ端末での手続き後、お近くの郵便局での手続きが必要となりますので、出願期間最終日には、お近くの郵便局で当日の消印処理が可能であるか十分に確認のうえ、この後の手続きにお進みください。(※出願期間最終日の受付締切時間は22時となりますのでご注意ください。)

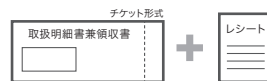
① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



② お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。



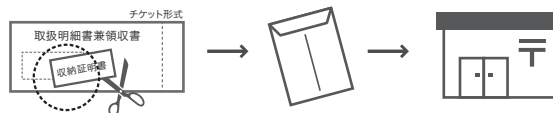
*お支払い済みの入学者選抜手数料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学者選抜手数料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学者選抜手数料の他に、払込手数料が別途かかります。
*払込期間初日は10時から手続き可能となります。

払込手数料(税込) 495円

3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の
「収納証明書」部分を切り取り、募集要項の指示に従って
入学願書の裏面に貼り、郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は
使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【試験会場案内】 事業構想学研究科

宮城大学 ^{たいわ} 大和 キャンパス

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

電話 022-377-8359

【JR仙台駅からの交通案内】

JR仙台駅から公共交通機関を利用する場合は、(1)仙台駅発着路線バス又は(2)仙台市地下鉄南北線を利用する方法があります。

(1) 仙台駅発着路線バス（宮城交通バス）を利用する方法

JR仙台駅西口のバスプール2番から、路線バス（宮城交通）「宮城大学・仙台保健福祉専門学校」行きに乗車してください。県庁市役所・泉アウトレットを経由する路線と上杉通・泉アウトレットを経由する路線のどちらも乗車可能です。宮城学院、泉アウトレットを経由し、所要時間約50分で「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」バス停留所に到着します。（片道料金700円：令和4年6月1日現在）

(2) 仙台市地下鉄を利用する方法

① JR仙台駅からは地下1階の自由通路を通り、隣接する仙台市地下鉄仙台駅に向かい、地下鉄南北線「泉中央」行きに乗車してください。所要時間約15分で泉中央駅に到着します。（片道料金310円：令和4年6月1日現在）

② 仙台市地下鉄泉中央駅で地下鉄を下車し、路線バス（宮城交通）に乗り継ぐか、又は、タクシーを利用してください。

ア 路線バス（宮城交通）を利用する場合は、東1出口からバスプール3番に向かい、「泉パークタウン」行き（宮城大学経由）に乗車してください。宮城大学を経由しない路線もありますのでご注意ください。桂・高森地区経由で所要時間約30分、寺岡・紫山地区・泉アウトレット地区経由で所要時間約35分です。「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」バス停留所で降車してください。（片道料金420円：令和4年6月1日現在）

イ タクシーを利用する場合、泉中央駅のタクシープールは駅舎2階北側にあります。

宮城大学にはキャンパスが2つあるほか、仙台市には「みやぎ台」という地区がありますので、行き先を告げる際は、「泉パークタウン隣の宮城大学」とはっきり伝えてください。

泉中央駅から所要時間約20分で、料金は片道2,000円程度です。

